

# 桜川市歴史的風致維持向上計画(第1期計画の総括)

## 第1期計画の主要な取組とその効果

ま かべじんや

### ○真壁陣屋跡整備事業

重要伝統的建造物群保存地区を中核とし、歴史的建造物が多く立ち並ぶ真壁の町並みの中心部に位置し江戸時代の政庁であった真壁陣屋の跡地を整備。建設した多目的複合施設(真壁伝承館)内の歴史資料館は来訪者の窓口となり、併設された音楽室では祭囃子の練習が行えるなど、伝統文化の継承に寄与している。



真壁の町並み



真壁伝承館

祭囃子の練習風景



たか く け

### ○旧高久家整備事業

明治末期の商家である高久家を整備し、観光拠点、貸スペースとして活用を行った。令和元年度からは地域おこし協力隊の活動拠点として利用し、マルシェ開設などを実施。隊員が常駐することにより、イベント時・観光客だけではなく、周辺住民が平時にふらりと訪れ立ち話ができる環境が生まれている。



マルシェ開設時の様子



祇園祭の休憩所



旧高久家整備前後

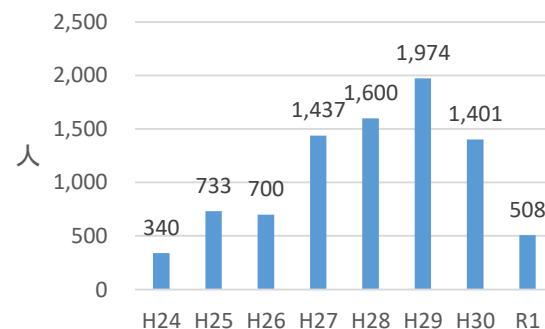
## 第1期計画の成果

### ○歴史的建造物の修理促進と来訪者数の増加

真壁の町並みでは東日本大震災により多数の歴史的建造物が被災した。これらの建造物のうち、伝統的建造物群保存地区内に所在するものは制度により、地区外に所在するものは歴史的風致形成建造物の制度を活用して修理を行った。これにより被災した123件中解体される建造物の数を9件に抑えることができ、地域の良好な歴史的景観が保全された。

第1期計画に基づいて町並み整備を進めた成果もあって歴まち計画認定以前に比べると、真壁の町並みへの来訪者数は増加傾向にあるが近年は停滞もみられ、よりいっそうの魅力・利便性向上や、新規の歴史資源の発掘・情報発信が必要である。

街並み案内ボランティアの案内人数



# 桜川市歴史的風致維持向上計画(第2期計画の取組方針)

## 第2期計画のコンセプト

第2期においては引き続き歴史的建造物の修理・修景を行うとともに、現在不足している案内看板の設置や観光情報の発信などを行い、より充実したまち歩きを楽しめるような環境づくりに取り組む。

また、新たに重点区域を市北部の桜の名所であり名勝桜川(サクラ)の所在する岩瀬の磯部地区にも設定する。これにより、来訪者の市内での回遊・長期滞在を誘導し、さらなる魅力向上を企図する。



## 第2期計画の取組方針

○重点区域の追加と来訪者の回遊促進、情報発信

「桜川のサクラ地区」を新たに重点区域に追加し、在来種であるヤマザクラの保護育成や、遊歩道・便益施設の整備などを行う。併せて案内看板の追加設置や新たなパンフレット作製などを通して来訪者の市内回遊を誘導するとともに、デジタルコンテンツでの情報発信などを積極的に進める。



真壁伝承館歴史資料館紹介動画

歴史資料館【吉】



第1期計画期間中に建てた看板と配信動画の例

## 第2期計画の主要な取組

○ヤマザクラの保護育成



土壌改良等、樹勢の回復を図るとともに、在来種の育苗を行う。

○名勝地周辺の整備



公園内の遊歩道・便益施設等(岩瀬地区)

○案内看板・情報発信の充実



看板の設置や案内人の育成を行い、情報発信を進め、回遊を誘導する。

○歴史的建造物の修理・修景



第1期で整備を行った木村家住宅(真壁地区、江戸末期)